TAKATA

取付・取扱説明書

DRIFT Models

本書には以下に示す重要な情報が含まれます。

お使いになる前に

お買い上げいただきました本シートベルトは、欧州規格ECE-R 16.04および(または)米国自動車安全基準FMVSS209に従って製造されています。日本における公道用の法定車両に取付けるために設計されたものではなく、公道走行に必要な自動車安全規定を満たすものではありません。また、日本での公道走行時には車両登録時に保安基準適合として認められ、装備されている純正ベルトの着用が道路交通法で求められておりますので、本製品を着用しての公道走行はおやめください。

本製品は前列左右席にのみ取付けてください。また、体重40kg以上で身長150cm以上の成人(最少年齢12歳)のみ使用可能です。

本製品は、全ての事故に関して、乗員が傷害を受けないことを保証するものではありません。
ご購入者・ご使用者は全ての事故に関して自己負担を条件とします。
製造者、及び販売者は使用者の負傷あるいは死亡に関して一切の損害賠償も致しません。

マーク表示について

この説明書には、安全にご使用いただくために、特にお守りいただきたいことを、次のマークで表示しています。これらの記載内容は重要ですので、しっかりとお読みください。

⚠警告

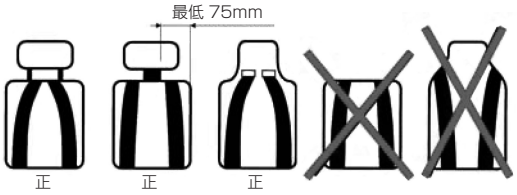
警告ではDRIFTモデルシートベルトの取付け、使用及び誤使用あるいは改造についての重要な点について述べます。警告事項に従わない場合、本シートベルトの性能が著しく低下し、事故の際、人体に深刻な傷害あるいは死亡の原因となることがあります。

本書に含まれる情報については常に注意深く読み、指示に従ってください。
特に上記のように強調されている点については、必ず守ってください。

✕ 図示されている行為の禁止を示しています。

シート要件

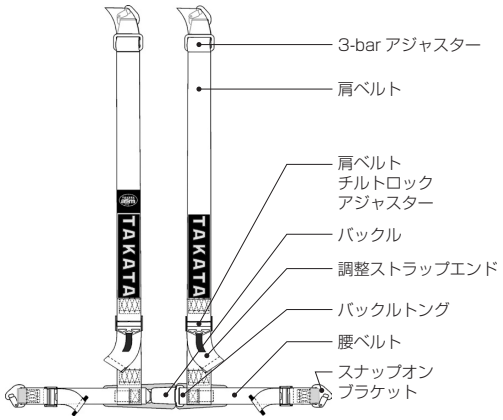
肩ベルトが肩から滑り落ちることがありますので、高さ調整の無いヘッドレストまたは肩ベルト通し穴の無いバックレストを持つシートには取付けないでください。
シートへの穴あけ加工はお止めください。



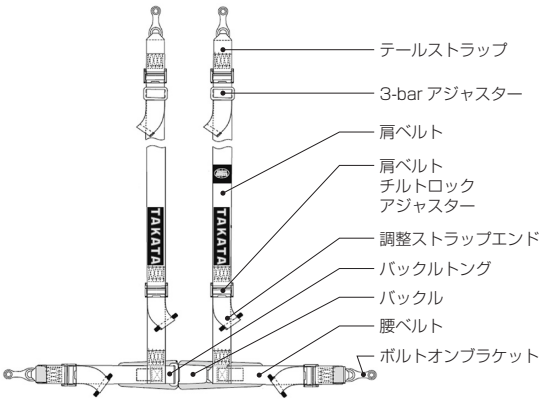
肩ベルトを後席アンカーに取付ける際は、衝突時に前席のシートバックが肩ベルトからの入力荷重に耐えうることが必要となります。従いまして、各種公認取得及び試験・評価されているシートを推奨します。肩ベルトはロールゲージやハーネスバー等の水平方向への取付けが推奨されます。(WEBサイトにて各種のTAKATA RACINGシートをご覧いただけます。http://www.takataracing.com/)

部位名称

DRIFT III (SNAP-ON左席用)



DRIFT II (BOLT-ON右席用)



ベルトの取付け

アンカーポイント、ネジ種類とサイズ

DRIFTモデルシートベルトは車両に設定された7/16-20UNFネジに取付けられるように設計されており、このサイズに合うボルトが付属されています。使用されるボルト長さがネジ深さに適しているかご確認ください。ご自身で取付け穴を開けた場合は、取付け部の強度が不足していたり、適切ではない位置になっている可能性がありますので弊社では責任を負いかねます。7/16-20UNFボルトの締付けトルクは40Nmを目安としてください。

⚠警告

不適格なネジ種類やサイズや短すぎるボルト長、締め付けトルク不足の場合は、事故の際、人体に深刻な傷害あるいは死亡の原因となりえます。

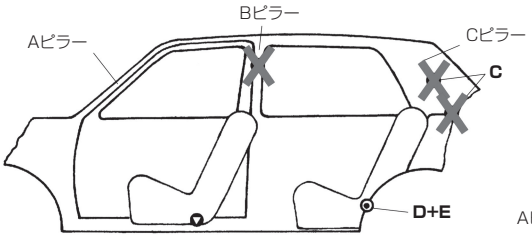
腰ベルトの取付け

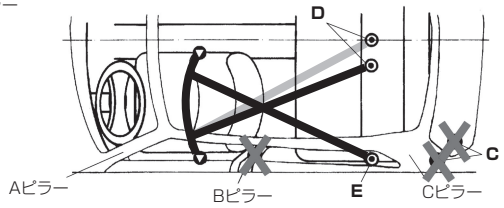
1. **車両中央側のアンカーポイント**
   センタートンネルまたはシートレール付近のシート本体に設置してください。
2. **車両外側のアンカーポイント**
   ドアシルまたはシートレール付近のシート本体に設置してください。2ドア車でドアシルに純正シートベルトのスライダー機構がある場合は、スライダー機構の車両前方側の固定部を用いてください。

肩ベルトの取付け

1. **肩ベルトのアンカーポイント**
   後席の腰ベルトのアンカーポイント「D」と「E」が使用できます。通常使用時や衝突時に肩からの滑り落ちを防止するために、肩ベルトは交差して取付けてください。
2. **その他のアンカーポイント**
   ご自身で加工されたアンカーポイントやロールバーへの巻付け固定の場合は下記の要求に従ってください。

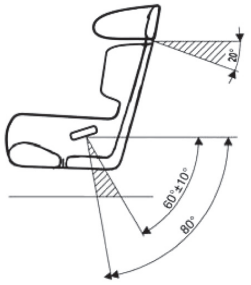
強度要件：各位置ともに14.7kN以上

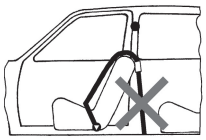




※Bピラー、Cピラー、はアンカーポイントとして使用しないでください。

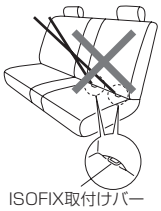
取出し方向：
腰ベルトは水平より下側に60°～80°の角度。
肩ベルトは水平より下側に0°～ 20°の角度でシートセンターに左右対称で取り回してください。





⚠警告

前席と後席との間のフロアーには肩ベルトを取付けないでください。

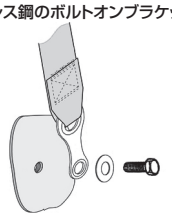


⚠警告

チャイルドシート取付け用のISOFIXバーには肩ベルトを取付けないでください。

ブラケットの取付け

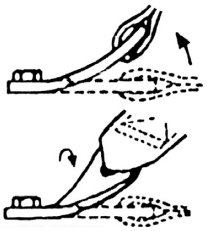
1. **ステンレス鋼のボルトオンブラケットの取付け**



特殊ステンレス鋼のブラケットは、適切な方向にベルトが装着されるように、あらかじめ曲げておくことができます。
適切な負荷方向の位置あわせは、通常使用時や衝突時のブラケットの負荷(破断や亀裂のリスク)を軽減することができます。

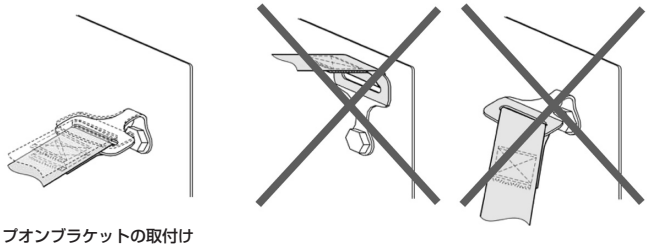
⚠警告

ボルトオンブラケットは前後に何回も曲げないでください。複数回の反対方向への曲げ加工は部品の強度を低下させ、衝突時に破壊する可能性があります。
ボルトオンブラケットの曲げ加工の際、ベルトにダメージを与えないようにしてください。

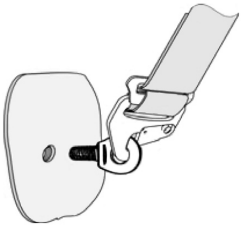


⚠警告

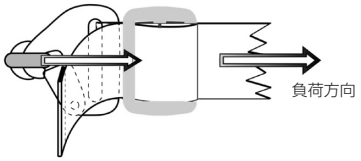
ボルトオンブラケットはベルトの引張り方向に一致するように曲げて取り付けてください。



2. アイボルトとスナップオンブラケットの取付け



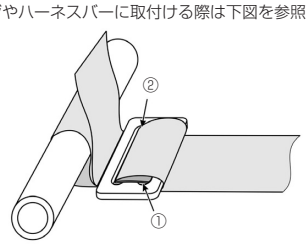
アイボルトは、引張り負荷発生時にスナップオンブラケットが十分自由に動ける位置に配置してください。スナップオンブラケットはベルトの引張り方向と同一線上に配置される必要があります。

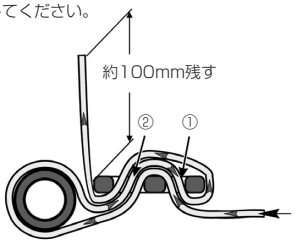


⚠警告

スナップオンブラケットはベルトの引張り方向に一致するように取り付けてください。

3. ロールケージへの巻付け固定
肩ベルトをロールケージやハーネスバーに取付ける際は下図を参照してください。





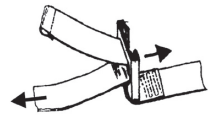
⚠警告

不適切な巻付け固定、あるいは上図のように3barアジャスターがロールケージバーまたはブラケットから密着されていない場合は、衝突の際にウエビングが伸びだす可能性があります。そうすると本シートベルトの効力が低下します。ショルダーベルトに余分なたるみが生じ、頭部や胸部がハンドルに衝突する可能性があります。深刻な負傷あるいは死亡事故につながる可能性があります。

ベルトの装着

1. 長さの基本調整
このDRIFTモデルシートベルトの腰ベルト(および肩ベルトテールストラップ)にはそれぞれ長さ調整のチルトロックアジャスターが装備されています。最初に、バックルのプッシュボタンがシート中央に位置するように腰ベルトを調節してください。

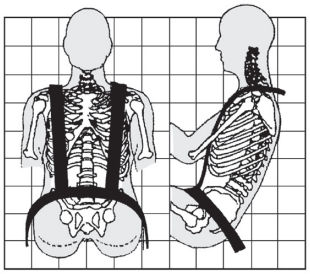
2. チルトロックアジャスターの調節方法



ベルトの伸ばし方
おおよそ90°までアジャスターを持上げ(チルト)て、図の矢印の方向に引っ張ってください。

ベルトの締め方
正しく締め付けられるまで調整ストラップエンドを引っ張ってください。

3. シートベルトの装着



a)左右の腕と上半身を肩～腰ベルトのループに通してください。このとき、肩ベルトは肩・鎖骨・胸にねじれが無いようにしてください。
b) 腰ベルトを大腿部の付け根と骨盤の最頂部の間に位置させてください。もし肩ベルトが短くて届かない場合は、いったん肩ベルトを緩めてください。
c) バックルトングをバックルに「カチッ」音が鳴ってしっかりと噛み合うまで挿入してください。
d) 最初に腰ベルトを締め付けでください。常に腰ベルトを最初に締め付けます。
e) 肩ベルトがたるまないように締め付けてください。双方の肩ベルトは同じ締め付け具合にしてください。肩ベルトを締め付けすぎると、腰ベルトがずれ上がってしまうため、肩ベルトの締めすぎに注意してください。

⚠警告

腰ベルトがゆるんでいたり、大腿部の付け根と骨盤の最頂部の間に位置していない場合、正面衝突時にサブマリン現象(腰ベルトの下に体がもぐりこんでしまう現象)を発生させやすくなってしまいます。
肩ベルトが適切に締められていない場合、衝突時に頭部に大きな衝撃を受ける可能性があります。

乗員が交代する場合は、シートベルトをその都度適切に調整しなおしてください。ヘッドレストもオーナーズマニュアルに従って適切に調節してください。

4. シートベルトのリリース

a)肩ベルトを50～100mmゆるめてください。(事故時や緊急時には不要です。)これによりベルトが外しやすくなるとともに、次に装着するときには腰ベルトの位置を補正しやすくなります。
b) バックルトングが外れるまでバックルの赤いボタンを押してください。

⚠警告

＊DRIFTモデルシートベルトは一度に一人だけ装着してください。
＊決して車両標準の3点式シートベルトと本シートベルトは同時に使用しないでください。
＊常に腰ベルトと肩ベルト双方を装着してください。
＊お子様に着用したり、チャイルドシートの取付けには使用しないでください。
＊着用の際は常にベルトが捻れていない事を確認してください。
＊ベルトは決して厚い服の上に着用しないでください。ベルトの適正な位置と調整を妨げ、システムの総合効果が低下します。
＊服装の中に硬いものや壊れやすい物(例えばメガネ、ペン、貴金属、鍵など)を収納したままでベルトを装着しないでください。これらは負傷の原因になります。
＊ベルトに鋭利なものが接触しないようにしてください。
＊ベルトはドアやシートの金具にはさまれて損傷しないようにしてください。
＊酸や塩基などにシートベルトを接触させないでください。
＊ご使用されていない本シートベルトは取り外してください。衝突時に装着していない本シートベルトによって乗員を負傷させる原因になり得ます。
＊本シートベルトは特別に認められた競技やサーキットの場合を除き、日本の公道上では使用できません。
＊一般道や高速道路では純正のシートベルトをご使用ください。
＊本シートベルトは、すべての事故に関して、乗員が障害を受けないことを保証するものではありません。
＊ご購入者・ご使用者は、すべての事故に関して、自己負担を条件とします。
＊製造者および販売者は、使用者の負傷や死亡に関して、一切の損害賠償をいたしません。

シートベルトのお手入れ、メンテナンス

1. 点検
少なくとも1ヶ月1回はシートベルトのダメージ有無を点検してください。
ウエビングの破れ、切れ、こすれによる極端な傷が発生している場合は継続して使用しないでください。バックルは確実に着脱可能であることを確認してください。

2. クリーニング
シンナーやアセトンなどの溶剤は使用せず、石鹸と温水のみを使用してください。直射日光や高温な熱源の近くでは乾燥させないでください。

3. 衝突事故後の対処
シートベルトを交換するとともに、アンカーポイントに変形や亀裂などが発生していないかを入念に点検してください。修繕が必要になった場合はカーメーカーのガイドラインに従ってください。

⚠警告

衝突事故時に着用していたシートベルトは絶対に再使用しないでください。
正しく機能しないシートベルトは絶対に使用しないでください。
ご自身での修理は行わないでください。
製造者の純正交換部品のみを使用してください。

弊社は、予告なしに本製品に仕様変更や改良を施す権利を留保します。
弊社のウェブサイトにて最新の取扱説明書と製品をご案内します。
ご使用に当たって不明な点がありましたらお買い上げ販売店にお問い合わせください。

TAKATA Racing 製品の問い合わせは下記へ

タカタ株式会社
〒106-8488　東京都港区六本木1-4-5 アークヒルズサウスタワー
TEL. **03-3582-8084** (平日9:00～17:30 祝日は除く)
FAX. 03-3584-5601　Email: takataracing@takata.co.jp

201407